



御厨集

中村俊定文庫  
文庫 18  
55  
1





櫻尾氏





うらみれ塔とともく人ご涙結のま歌ハ  
あぶ小神のうらみれ國よさらくもそ  
あくもそのまふ泣きお津成のうらみ  
中川は系んしんいさのまぬとまあり  
守きけり乃とらとゆゆぬあらのま  
松永代道格好貞徳新らの道ハ聖也  
して世とくともうらあまわく道と  
あくも免廣くともいゆふゆかた童也

胡鬼のまのけこもくともいさ  
越打のまのけこもくともいさ  
まゆまをまゆの夷まきくらの道よ  
ハ及ぬまのまよ化せぬまゆま  
ま裾裾のまハえ哲のうらみれ  
直れらひらまそへのまわらまよ  
殺せこのまをまの月ままら  
ままらまのままらまよま







あんなうらやまおかしうくさくさ  
うのけんあ我れさるれあまわらわ  
きしとわあを又備前とららあ  
う護物よ人の用さひるれ白紙とく  
のえくしせんといふひげせやくわく  
そちけりまふくわくしあまわえ  
引まひうらあきひけしと酒とく  
せんく松のちのさくくあ人か

あひげりとあむせくかんあくのせ  
児物の内装とくくぬぬさの葉枝  
の曲まふと直くわく木目乃あ  
とらまわうよけりまらと付ぬい  
あをさなうとらまわとけりま  
せしあむむらあ



鮑脣集目錄

內迴文五句

春部

立春

胡鬼板

子日

初寅

若菜

懸想文

左儀長

付贈弓  
御薪  
萬歲

霞

憲

梅

佛別

春水

春雪

春雨

柳

松若綠

木目

椿

土筆

蕨

花

檜

檜調

付檜貝  
檜真

返田

枇

付草餅

鷄合

付塩  
曲水

雲雀

燕

歸雁

春雁鳥

付鳥巢

雉子

蝶

蛙

莖

金錢花

春草



春月

款冬

木蓮花

若點

躑躅

海棠

小米花

雜春

藤

梨花付辛夷  
李賴坊

春郭公





鈍肩集卷第一

立春



ち款よいしく子年そみゆり鏡脩大坂住 一齒  
 松抄よいさうりめくもひらけり所 重頼  
 志のちのよむ和國や神の心江住 卜粮  
 念之三年や又常の仲津國大坂住 空存  
 海洲よいとしんぬ今日乃云 一齒  
 玄札江戸高島氏  
 玄札江戸高島氏

花也そいれ指やましくこの神の云江住 未得  
 年酒乃そいれ合門や朝乞大坂河原宮 友直  
 衣食住細いそいれのそいれ大坂住城入極系 貞因  
 陽云の法利の酒のあさうの酒江住 政祐  
 立云の酒とあさうの酒備前出法寺 後次  
 年八知軍子くあ一切理同堅景 後屋  
 元日乃云葉のそいれや福寄同堅景 政成  
 書初の日出 後意そ神の心同堅景 時明  
 習いぬり星や教りり清代乃云 俊安



同野尾氏

業子わらじうと此の良才の刻

同野尾氏

中と玉と細家子うの赤福の

同野尾氏

同松のくさる御代乃良才

同野尾氏

ふあや和光同松神乃良才

同野尾氏

紙のくさる御代乃良才

同野尾氏

松とくさる御代乃良才

同野尾氏

年ハ松ハ約の系乃良才

同野尾氏

越乃の菓く御代乃良才

同野尾氏

大年よあはらけのくさる

し乃年乃あはらけのくさる

日所

夫乃く比乃く御代乃良才

日所

明暦三年よ

明く乃御代乃良才

日所

あ乃玉とえ乃く御代乃良才

日所

心乃乃く御代乃良才

日所

あ乃乃く御代乃良才

日所

後乃乃く御代乃良才

日所

り乃乃く御代乃良才

日所

一閑

英時

正直

直通

竹翁

信定

卜養

玄礼

唯心

信安

言辰

直久

直序



茂ももとあえりてをあること

備前松沢村住

成よてらんやをり成志年

備前須賀屋彦氏

年成のりりてを成志年

備前中津井彦氏

大あくをえ因よりてを成志年

備前片上夜彦氏

大あくをえ因よりてを成志年

備前片上夜彦氏

大あくをえ因よりてを成志年

備前片上夜彦氏

大あくをえ因よりてを成志年

備前片上夜彦氏

年乃歳り

まうてりてを成志年

備前片上夜彦氏

丁酉のや

屠獲の所りてを成志年

備前丸尾彦氏

明暦やひりてを成志年

備前西崎氏

賞得らるる年乃歳り

備前金屋氏

常初の子やを成志年の兄

備前住垣見氏

えりて天下一統りてを成志年

備前出山彦氏

やを成志年

備前神林氏

のりてを成志年

備前酒井氏

せよりてを成志年

備前出山彦氏

正信

不知

貞次

風意

吉成

吉明

寶門

以負

一守

負重

易晴

後直

了玄

直通

正玄

養節



夫下一やのくはゆゆとて云々  
備前小出氏 宗栖

兼治の神ゆゆとて云々  
備後鞆住 安利

ゆゆとて云々

身のゆゆとて云々  
備前野崎氏 俊重

ゆゆとて云々  
備前出小出氏 嘉風

ゆゆとて云々  
京東山庸住 重頼

ゆゆとて云々  
在信

ゆゆとて云々  
是計

ゆゆとて云々  
備前住 重房

東云とて云々  
讚列丸起住 周葛

ゆゆとて云々  
備前兼林寺 琴山

ゆゆとて云々

年也日とて云々  
備前山住 宗後 風門

ゆゆとて云々  
備前原住 宗後

ゆゆとて云々  
備前住 周可

ゆゆとて云々  
備前住 宗後

書初やとて云々  
備前住 宗後

東云とて云々  
備前住 宗後



代も此と... 貞因

又十の... 同

祐教成就... 英時

あ... 同

ゆ... 同

や... 後屋

え... 同

ふ... 時明

ふ... 時明

の... 同

らん... 同

日... 同

し... 後安

年... 同

あ... 同

この年よ

松... 同

女... 同

大坂

竹屋

備中松住

養節

寺地

小松原氏梅要子

志保



多の品... 同

末... 安野

歳八百... 同

福の... 貞因

晴... 貞時

... 同

... 同

... 同

... 信豊

... 政成

... 栄成

... 珍仙

... 信定

... 法隆

... 同

... 正長

... 正直

... 良次



年ハ神のあま玉垣や勝竹

正直

くはまふ乃りてぬえやけや年一

浦前屋

正交

去年ハこのあま玉のあま玉物書

濱之屋

正長

このあま玉のあま玉物書

石原氏

政成

あま玉のあま玉物書

僧前屋

正供

あま玉のあま玉物書

花房氏

信定

あま玉のあま玉物書

同

あま玉のあま玉物書

同

あま玉のあま玉物書

花房氏

信合

菖菖の山やとあくとえ方取

同

あま玉のあま玉物書

竹屋氏

英時

あま玉のあま玉物書

同

あま玉のあま玉物書

同

あま玉のあま玉物書

同

あま玉のあま玉物書

新屋氏

祐助

家横川とあま玉物書

新屋氏

あま玉のあま玉物書

守長

丁酉のあま玉



一、是よりすのちや丁字のとなり年 大田氏 林宗

西乃やうり

鳥花とゆらんき 同列作 権宗

女と乃やうり

室くのいし并ハミの志初作 同

えとハ起しく因か泰の卦と云 松山氏 養節

又と括一成凡年と云

室よりぬ乃年 同

居藤内を仰りおはや年と云 依後住西村氏 忠宗

類の竹乃 宗政

因心室よ 片上志賀氏 俊直

年 松山住 養節

室女と始る 依前之住 重房

ひ月い ゆあ 貞次

く 村尾氏 一閑

綿 舟木氏 同

歳 清讚

年 同

同 同



備前聖山安井氏

源成

備前聖山安井氏

言辰

家のちう倭弁と物も走つら  
り名は正經乃ちう此代勝竹

同

長命破くちぶるの居積のち  
年乃ちうらよま立ひりえま

舞の赤もやよとめ今物志ま

李吟

京東六条

意休

外ハ八端肉を九献のうは美非  
一ふよ子代ととめありうこひあ

洗及

書物や茶類の目れこのり

同

財よ水よくわらじとひれ神会

同

神く人かとあそそいれりこ

同

喜のあもやけふねんれ始

同

母うもいこり乃え良れ養は

同

色やもてく家製も花のま

同

書物やしよふ後方れ潰す白

同

園遊くまへ鶴鳴あく雀い那

同

とらわちも長き世経れ大り美

同

一家いよふ池湯やけもら神会

同

空方跡よ星れくもや池青も

同



若ぬらも疾草の草とつげの草  
棟乃越うらつげの草や子葉以  
大少やその草を此風固系  
曰

胡兜板

らねと持もとつれぬらもた板

らぬ持や字はく書置のりく

子曰

引ひら書れ木枕を子か心ひれ

こ白子の白りひき

みれ白や引や白敷をこ系

備前赤徳住長妻

重尚

汲流子

俊安

中つ代よ新例とひん子か心固  
松乃葉よ少うらみれ固乃越れ  
引あもしま代をん来ふも  
松すりこひらもやうらひ代の何

梅要子

特明

竹屋氏

英時

安井氏

誠成

初夏

初るれゆらゆ物羊草を  
勝之

淡路氏

若草



かやんしんしんきりせりるや馬草 芦住 玄札

まの草とてしんきりせりるやぬ袖 大坂住 井蛙

舌玉とてふあつ地やあや 竹屋氏 英時

寄くくふきやせん 佐々木氏 俊次

まのいりやあつもんれ 同

そくふくく 葛尾氏 直久

りく 永井氏 如重

あ 舟木氏 實安

七 舟木氏 清讚

味 舟木氏 清讚

く 同

やん 竹屋氏 夷時

し乃也

と 舟木氏 清讚

や 松山之住 養節

け 赤穂住廣城氏 昌秀

打 安井氏 誠成







仍保那やいしく殿乃多う江田氏 信安

梅うもすく一子殿乃麿者雲 同

志才心多うすけり乃の公殿乃衆 意尾氏 直久

かじひの多葉乃衆乃せぬ松の多 備前赤城住 相松

留まふよ殿じうれうの多 廣城氏 昌秀

衆乃の多 松本氏 胤序

大綱やうの多 梅重子 時明

浪乃の多 備前置出野氏 重貞

隈乃の多 備後福光木氏 定親

多うよ平乃殿や多乃の多 備後後住 盛直

ひりり多うの多 芝栗住武木氏 正信

衆乃一重と多 因列鳥取住 不及

衆乃乃陽乃多 備前児嶋那彦 宗久

多と多 讚列妹尾氏 松本氏

拙乃乃の多 某師寺 胤序

の多 云斗

多 備前中庄徳院 雄介

八端乃多 胤及



尊

うくしきも新元乃多成時使  
 尊のまや巻以志ま乃多  
 尊乃父と村名をいふ全書  
 此記述の如く尊と呼ぶ名  
 うくしきも新元乃多成時使  
 本乃母と名いふ多乃子  
 親も尊乃父と名いふ多乃子

後安 重頼  
小松 後次  
佐々木 時之  
江田 信安  
備前光清 惠海  
藤原 栄茂

尊乃父と名いふ多乃子  
 尊乃母と名いふ多乃子  
 尊乃父と名いふ多乃子  
 尊乃母と名いふ多乃子  
 尊乃父と名いふ多乃子  
 尊乃母と名いふ多乃子  
 尊乃父と名いふ多乃子  
 尊乃母と名いふ多乃子  
 尊乃父と名いふ多乃子  
 尊乃母と名いふ多乃子

備前住 重房  
備中津井 直通  
備前津 栄家  
幸隆妹 長  
備中津井住 重増  
備前片上住 玄好  
墨氏 正直  
母木氏 正信  
備前 信安



うくしあれも樂やまれ落とん

備前出野崎氏

正供

貝とくぬるや丸をを念存証為

安井氏

誠成

梅よ梅のうくしん殿印之うれ

河内信吉村氏

種好

うくしん殿の神を玉柳

備中沈家氏

直家

白しるふいあせいそく卯志神

うんま

胤及

後守うれおや野沈くさあ司

同

當分のとれ

おふふと合くさるやよぬいさ

同

蕨やさひくとりぬりあれお

同

寺のまら

鴨や黄けさくさうく椅子のほお

同

宮の梵字経儀なるやんをりけ

同

赤しんぶんるるりけれ念存為

同

蕨のけさくさくさく

鴨とくけさくさくさく

同

梅

お梅のつる木と

今月お沈くお梅やひりあ

寺の



梅の枝をそそりけり今

形毒の神をそそりけり今

沈梅の枝をそそりけり今

紅梅の枝をそそりけり今

咲く根よりそそりけり今

ゆくもそそりけり今

平よりそそりけり今

世のええそそりけり今

月毎よそそりけり今

立圃

冥氏

江田氏

金出地

志賀氏

俊安

信安

正利

信豊

信豊

中之庄

雄弁

花房氏

信定

因列氏

催笑

誠成

崇武

重明

織井氏

同

竹屋氏

英時

斤未

玄好

念と梅もまをそそりけり今  
午従よのそそりけり今  
後ハくくそそりけり今  
毒の毒もそそりけり今  
そそりけり今  
梅の枝よ今そそりけり今  
毒の毒もそそりけり今  
そそりけり今  
そそりけり今  
そそりけり今



笑之氣よ又言ふ水や修所じあ 松山住異氏  
 露のくじはる水枯るん梅 異氏 正直  
 名梅もや負し梅の気 伯列小谷氏  
 平氏同はるらり 佐条氏 俊次  
 難の破とさる 寺地氏 同  
 井系とさる 後屋  
 孤妻よあがり 吉久  
 妻よ奇一首 信定  
 萱物の友魂 同

笑く比るや 讀列の松相峯  
 笑らる色 直道  
 氣よ 赤穂長安氏  
 氣 重尚  
 氣 寺地氏  
 氣 梅要子  
 氣 時明  
 氣 行上太娘  
 氣 宗弘  
 氣 僧中持持衣善吉辰  
 氣 倫前出  
 氣 竹屋氏  
 氣 佐内氏  
 氣 重明  
 氣 幸隆妹  
 氣 長



光清寺 惠海  
 菟田氏 重貞  
 行夫 宗弘  
 花房氏 信定  
 意尾氏 直久  
 備前 連計  
 立圃  
 村尾氏 一閑  
 墨本氏 言辰  
 梅子 時明  
 今のつらや 陰より 名は 古物也  
 梅の片 神の 名を じり 志は 然  
 意の 節や けりし 志は 後 じり  
 毒の 毒の 名は 山 志の 志は 邦

聖後の 越中 梅志 くれり ころ  
 梅子 時明

陰源信

船木氏 清讚  
 備前 次良  
 赤穂住 玄好  
 因列 本林氏 政長  
 林氏 貞次  
 東志の くれの 兄より 因分 くれ  
 風ハ 梅の 志の くれり くれ  
 子母と 子と 梅の 志の 約ハ 同



水の梅や尾の鬼へくはさ  
多き多きくはさ乃梅や中家  
とくよきよきよき梅は作  
同 同 同

俳句

和歌

さうん沢村のきりんよじりいぬん節

温繁像うけよ繪れきの思双葉 俊安  
御温繁ハ唯家いつられ嘆れ舟木 清讀  
物とゆきけりや死くれ十文出住 不知  
何難うくハ從庭や枯木ひよ縁竹屋 英時  
夕六歳とゆて鳴ん縁らん根 同  
秋木ハじりよあそも今刻れ 亂及  
世のゆきよさぬうれぬのれ 同

去少



ぬらひてあり色あはく御食 重頼  
水居あはく水色あはく河分れ 因列住 權英  
ぬ消く拂底さきや紙倉川 讚列高住 重負  
浪乃花れ細もさけい雪水 金出地氏 正利  
東志よ浪さねくひ水れ 花房氏 信定

まゝ名

まはるのまきより名れ河内川 備前出山 不知  
消く名の道とあまそくさ 森住 貞因

あけ年の形かたありまき名 活住 是討  
かさん乃袖袖されやまき乃名 讚列高住 利忠  
ゆらきく名踏う名れ行約山 大坂江村氏 元周  
村さえ乃名いさくれ天月山 梅粟子 時明  
宮女まきハ消きやねとこま 慈尾氏 直久  
水とる波や月え音まき名 菜師寺 可云  
水乃まきよさけてや名のみま 竹屋氏 英時  
因あり踏田ハ名けまき名れ 室氏 直通  
時とぬハ継みるやまき乃名 江田氏 信安



はくふまけと吸付多うれ 大坂城池氏  
為勝  
大のりうし所の書やうの 村尾氏  
一閑

### 春雨

花よ父母月は代今うまふの 志賀氏  
俊安  
寄心はああひせうやま 倫後西村氏  
忠宗  
時ぬよふうらとく 那波氏  
宗文

### 柳

あしーやとくええと鞠げり柳 川崎宗立  
友直  
宿あれいといとく 松沢村氏  
養節  
見る今柳八目うり 讚列金毘羅住  
栄之  
まぬや精して 俵掛住  
吉辰  
るるあれ 讚列高松  
花入れ竹 小谷氏  
常成  
ま風 意尾氏  
直又  
わが 正山住  
正直  
柳 好見



松とこれ何色柳も厚しよせ 梅要子  
 藤よ生しく咲ぬ花うら柳れ 立圃  
 短尺と付るる名もや厚るれ 沢村氏 養節  
 少蘇や暮るん名徳いよ 江昇 信安  
 解人この川よな 亂及  
 名に腰やれ 測り来柳 同

松若縁

次方乃う〜あ〜

繪筆もや千枝乃松のわらみ 亂及

木目

子とまじりけきる枝のま歌心けり満座 妙寺大洲和尙  
 出今これ木の目かまじり 玄弘  
 見くじりて名乃玉子れ 因列鳥取守野氏 安次

椿

十六歌り〜いんか 因列住 催笑



取入るるやまらふ中野の玉桂

同

取の良を仲とみくろはく

備前姫路住  
利勝

宮の仲取の志ありあり

大坂堀池  
為勝

風と地とあやむるふり

金出地  
正利

去の字の良とや下知玉桂

小出  
嘉風

三の字の良と人まの良玉桂

草野  
信豊

嘆くまらふ地と満下り玉桂

金出地  
正利

村人あたらふもあまら玉桂

倫中住  
湯浅

十の字の良と良玉桂

湯浅  
初正

三分の良と二分の地り良玉桂

備前  
山菴

九の字の良と合利良玉桂

同前  
良次

### 玉桂下

一文字の良と一文字の地り良玉桂

善  
誠成

六の字の良と六の地り良玉桂

村尾  
一閑

五の字の良と五の地り良玉桂

清水  
吉友

四の字の良と四の地り良玉桂

姫路  
利勝

三の字の良と三の地り良玉桂

小谷  
常成



中よりとわんか中一筆の死 寺地氏 後昌  
人丸の筆のあし 後昌六歳 三郎寛  
去回好の吐筆のや 江田氏 信安

### 歎

飯山名付の泣く歎 高野山 養嚴  
こつこつと 養 久重  
さし 意尾氏 直久

### 思文

とれ 橋六律 守長  
ゆ 村屋 一閑  
ぬ 瀬及

### 死

子 梅要子 重頼  
為 大坂住 時明  
目 貞田  
尖 小谷氏 常成



親乃のりも子もるれわ親の面 同

みよのりもららわれあま花風 草野氏 信豊

しつりは味の氣は征方やまのり花風 花房氏 信明

親乃のり也思ふ親よ因と継事 山本氏 言秀

作格のり胡蝶の氣と南のり 内海氏 風意

おとそへ今もや親のいりり此の氣 寺地氏 俊屋

八雲のりも子も思ふも親乃のり 立圃

解今も親も親のり 備中瀬人氏 正長

しつりは味の氣は征方やまのり花風

風波のりも子もるれわ親の面 一函

親乃のりも子も思ふも親乃のり 斤上佳幸氏 女手

咲親の葉相も 備前畢中氏 李大明

魚も親も帯細も 志賀氏 後安

幼多も親も 遠安 皇房

火も親も 備後福山氏 盛直

虎も親も 舟木氏 清譜

見も親も 長崎住 竹翁

親も親も 山本氏 胤序



久者よきと新の胡蝶中心の歌  
高松 聖負

月さるんを歌い山系に  
高野山 光音

山とつらひ歌や歌乃の南の方  
備中西岩村 重明

まきとらひ歌のさうこそ  
燕石

まき歌のさうこそ

歌のもし先んそびるや  
立圃

原の国お歌けく者か  
新住 葦葉

風乃の歌響う歌を  
同

と歌のさうこそ  
僧住 宗次

歌よ蝶着れり  
後安

まき歌のさうこそ  
神崎氏 安之

まき歌のさうこそ  
片上 後直

まき歌のさうこそ  
内海氏 風意

まき歌のさうこそ  
梅野子 時明

糖糸よ

糖糸のさうこそ  
同

十圓のさうこそ  
明石氏 徳真

さうこそ  
石原氏 政成







親と形じて蝶の歌の法座村氏  
 蓮増  
 つ道より此の望出りて歌乃歌斤上長齊氏  
 貞秀  
 爲もまた此のつらんをうれ寺地氏  
 俊昌  
 之善道と歌くとけりて守道華氏  
 誠成  
 富六の富此の長好の番代大西氏  
 正次  
 富六の富此の歌よ長好の歌乃法志賀氏  
 俊安  
 じし今うらぬ多や歌のえん日俊氏  
 妻  
 子路より法みちてうらむ歌乃歌出網原氏  
 林菴  
 かつら坂水と云ふ歌

親と道と接あや歌のつら佐々氏  
 俊次  
 親乃此のあひ果却の中織井氏  
 栄武  
 根の此のあひ果却の中讚列高松氏  
 利忠  
 親とじし中持るる伯別別氏  
 頼勝  
 大なるは是持るる倫前氏  
 三唯  
 尺のこのあひ果却の中聖中村氏  
 好孝  
 親よ是れをうれぬとらぬ小谷氏  
 常成  
 思ひをうれぬとらぬとらぬ藤田氏  
 重貞  
 親とらん人の道とれぬ斤上幸村氏  
 玄与



花の門よりやまの葉を説く録寺地氏 後屋

花の細くもはあやぐの袋森村氏 宗政

今もあまのめく

花の盛る堂よりふりしふんれ森住家氏 光成

花のしる花んをふる花んはら石原氏 政成

花のほしくはげんをふる花んはら目列住 催笑

花の妙なりしはらや樹木の花の色廣城氏 栄家

花の盛るふり花んはら花んはら昌秀

花のよはらあてても花んはら花んはら倫前見新氏 利寅

花のありふり花んはら花んはら立南

花のくろみり花んはら花んはら綾戸氏 守長

追善あり

花の神やんれ花んはら花んはら時明

花の心花んはら花んはら花んはら如藤氏 如月

花のくろみり花んはら花んはら花んはら小谷氏 常成

花のよはら花んはら花んはら花んはら草野氏 信豊

花のよはら花んはら花んはら花んはら讀列高松 城不知

花のよはら花んはら花んはら花んはら北園氏 重明



寒霜色よりしやわらふ花の風 金出裝 正利  
 清月四季のし又傳ふ夕露命 小出氏 宗栢  
 春の地よりしやわらふ花の風 四海氏 時明  
 風吹乃吹くは花の風 志賀氏 豊継  
 ちりては花の風 西崎氏 俊直  
 花の風とるは花の風 内流子 實門  
 地よりしやわらふ花の風 目列住 俊安  
 ちりては花の風 目列住 催笑  
 已に花の風 目列住 同

珠明よりしやわらふ花の風 倫明時時時 俊皇  
 ちりては花の風 謙高秋全氏 道政  
 花の風とるは花の風 菜師寺 玄斗  
 花の風とるは花の風 備後集 直家  
 ちりては花の風 綾氏 守長  
 花の風とるは花の風 松定氏 秀信  
 花の風とるは花の風 吾住 是計  
 花の風とるは花の風 同前 玄孔  
 花の風とるは花の風 同前 胤及



麻乃韵字引や彼も然乃中人 同

年終ち素守あり

多し流海花の今今言ま傷 同

人の身はらへて傳ふも数日人 同

高きつめ地なり一そり此花は枝 同

花の息らりさきひらるる風多 同

ありていも得美るや地乃然乃由 同

乃乃金色然乃浪も波の此録 同

牛急の然よ

あせらるししよととせよ然乃 同

構

よ赤国世ひもをくさん山々 俊直 斤志賀氏

芽枝とてぬ此代中も身も家構 信安 江田氏

宮の文出つりさるる宮もく山々 正次 讚別高松大栗

性と入継し木平もささるる山 政成 石原氏

名は然とてさるる宮山山構 正供 野崎氏

宮のり色を白もわひり山々 幸隆







うじと鹿<sub>子</sub>やゆりこしら朱梅 別住 頼勝

はがしやゆらぬたこの系楊 室氏 直通

まよさうれ個津心言禱る

乃鹿の系楊ハ物しらひり

まの奉る鹿の聖り経冊

志の句

りわすれらるわねひ乃系楊 別津山住近彦 壽現

花瓶やしへもささり志の梅 同

花らしん志のれ乃のささり 同

花母あく子鹿やりののり系楊 同

花をらるる花やまのこり梅 同

はあけくはひらぬやひりささり 同

針りも花れまのせいささり 同

地母らへて鹿はのり系楊 同

花をらるる花をらるる梅 同

花をらるる花をらるる梅 同

花をらるる花をらるる梅 同

花をらるる花をらるる梅 清良氏 吉夏



乞の目の佛をえんてのりさる

和羽住 葦葉

あふ咳や夫よりとあつと名橋

同

とこの中しひのまのらる名系橋

花房氏 信定

頼軍子の心をもを偽乃系橋

赤穂住尾崎氏 吉治

夫のら地よそそらそわ四生さ

赤穂住正盛 妻

志願くかろるやゆ浪打の系橋

正直

り道は是もつまらりりてゆ

讀列丸冠住妹儀

之味縁はらりそ色かりてさる

高松 武之

同みけくもらるやせ心乃系橋

村尾氏 一閑

梅花々々今そわも色鼻乃法

西崎氏 實門

おとくくもらりりりりりりり

備前住 松菴

絶音乃母衣翁よこは流道

虫明住 長世

風乃はぬり念食をくれ来はら

宋氏 吉秀

前此吉由の園吉思らふ堂此

ゆくゆく民こもこもんやま

よも吉野の吉乃名法家よ

うつて産屋吉野あまは

さき吉野の吉乃名法家よ











碑や美をいふ人多く乃其分病  
清讚

歌の流やまのこの後まら梅  
竹屋氏 夷時

火橋やいしく月よいはるし  
後安

比るや人乃八九七千毎所  
藤里 重貞

梅田や言ふ人あつた  
斤上梨子柳子 俊直

風海りれ難波の美の着見多  
同

是は深のしとといふ人判来り  
斤上永井氏 如重

汗橋のれを景のさう若賢傳  
大坂住 井蛙

梅田やうりう八束穂れ  
畠住 周可

梅戸をいひひやるる相らり  
讚列 周節

木の歌のうら貴しや高賢傳  
龍野住 祐静

又秋風の梅乃山風来り  
儉前聖寺住 行首

むらうはる歌の梅傳り若賢傳  
福山原氏 盛直

見ゆてはるの梅乃平らうと梅  
梅村氏 幸之

富くはる梅や鳥の多家さう  
梅後 安詮

乃る人や立はるる市乃庭さう  
花房氏 舜宗

火梅の門もいれ歌く  
信定

うらをいふは八宝地さう  
同







白髪もさむの玉雲深しうれ  
 坂のさむのさむのさむのさむの  
 文子もさむのさむのさむのさむの  
 風よのさむのさむのさむのさむの  
 清明れさむのさむのさむのさむの  
 同 同 同 同 同 同

栴網

秋のさむのさむのさむのさむの  
 同 時明

海つとさむのさむのさむのさむの  
 栴網やさむのさむのさむのさむの  
 新理くさむのさむのさむのさむの  
 秋のさむのさむのさむのさむの  
 大海やさむのさむのさむのさむの  
 ひりりさむのさむのさむのさむの  
 さむのさむのさむのさむのさむの  
 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同



引きし山石勢のれ田也我場  
流及  
志賀氏  
石原氏  
政成  
菜師寺  
藤露

桃 付草履

ひらひら花のくさむらさき  
舟木氏  
清讚  
志賀氏  
俊安  
意尾氏  
直久  
あそりく桜花もも原の桃  
同

桃のや花のきくさひあそり  
備中大嶋天照院  
増雄  
目列松長氏  
玄且  
吹や吹風りりわささり  
金重氏  
吉明  
竹屋氏  
英時  
桃のらよらばさるりわささ  
小茶生森氏  
意林  
仙降さぶあ桃よ波やそくささ  
白文  
桃のゆんせよ仙家と物り桃  
志賀氏  
貞重  
おさあひもいそ人のめり桃のゆ  
丸毎住  
うらうら移連しけさるもまは  
早村氏  
玄与



三すのちのらうる柗の寺 巽氏 宸

籬合 付曲水 塩干

くんよのころ卦のや易と馬合 兼師寺 専海

肩のころとや月力のなる合 梅要子 時明

長升綴ふをりくの塩干 斤上神崎氏 正室

約しまさる水よるうれ解暢れ 流及

ん代うらひて禁堂をける

んくうらひくうらひ

せうしけりふ

監解の苑の時せぬ林あゆみ 同

雲草

吹ららよるまの舟路のる舞筆 河崎宗立 友直

まよりのくのころ侍らるる山 竹屋氏 英時

海ららよる舞ふるをいしら 流及

燕



燕の尾柳の髪乃し内分  
高野山 倉突  
 葉と枝のさりみくらひより燕は  
内海氏 豊継  
 とふ燕さるる様うらうう  
同  
 才多子居る房也此等なは  
目列鳥取住 正長  
 翠やめんとるやとれ枝よ燕の葉  
胤及  
 親らんをゆらむるや燕さる  
同

帰鷹

と所此のりやうりも歌水  
竹屋氏 英時

去るやのりやうりも歌水  
梅里寺 時明  
 死望入るやうらうら  
前田氏 正親  
 のり入るやうらうら  
織井氏 栄武  
 夢とてさる房の又練のり  
龍野住 了玄  
 花もさる胡兜もさる  
花房氏 信定  
 夢とてさる房の又練のり  
同  
 行ひのりやうらうら  
同氏士歳 信明  
 少くはれ鳴の年世の東字  
胤及



去鷹

付去鷹

維子くら時をぬるもくらん風

時明

まゆのぬりひらふすのや草の子

花房氏

信定

新くもと葉の川草をまゆ

意尾氏

直文

維子

維子と鳥背鶴よ貝とせ

けりくとんくあな

維子れいとそつみの鳥背鶴母

江住

卜艱

維子けんととれつとら野

竹屋氏

英時

躑躅のくも胸の梅野の維子

草野氏

信豊

維子あけけんつらとまゆ

意尾氏

直久

好枝のく維子のまのわつとま

同

山林よとむいけけんら維子

目列氏

心狭

ま維子のくまゆりやまのら

赤穂氏

正歳

あまげん急とて後野志維子

西崎氏

實門

まの維子やの場いせ子の枝

流及



まらるるや野のまらるるに維乃色 司

蝶

蝶や唯我の秘ありとをよと茶の  
借三條 栄家  
 寐よりけり我の胡蝶やと感ふ  
安之  
 面は照りよ蝶や神子乃帝  
見新氏 利寅  
 冥府よひもさしと云胡蝶の  
梅中侍鳴氏 家辰

蝶

かみの三字中略しとて草紙  
小松原氏 時之  
 金糸よ鳴く蝶やつらけさ  
同氏 時明  
 花本よ鳴く蝶やつらけさ  
木野氏 俊安  
 多は乃蝶のあやめさあり  
木野氏 玄佐  
 去は去年をへるをあやめさあり  
室年 直重  
 中よりあやめさあり海原の鳥  
山川氏 立甫  
 蝶よあやめさあり海原の鳥  
倉吉野氏 正盛  
 水よあやめさあり海原の鳥  
林氏 貞次  
 水よあやめさあり海原の鳥  
胤及



菫

菫の草いそ葉焼つて汁や 菫 小倉氏  
しそ葉も花も汁もよく 菫 常成  
崇氏 吉秀

金襴花

淡よりや生くるる 金襴花 石原氏  
花ひんよはけしそ 金襴花 政成  
水あくは小親と 金襴花 俊次  
同

去や戻 菫の葉 金襴花 佐々木氏  
口付もさかして 金襴花 神林氏  
吹風よりそと 金襴花 花房氏  
信明

菫草

菫の草いそ葉焼つて汁や 菫 竹屋氏  
しそ葉も花も汁もよく 菫 英時  
おんこころい野あそい  
よはけりし時



おはせやまゝあまあゝあつた

志賀氏

俊安

とそまはえりあゝあや東菊

本村

常成

まはいあまゝとまわとあつた

倫中後任

世宥

あまのりあゝあゝあんちん

神楽原氏

林菴

あまやあゝあゝあゝあゝ

丸尾氏

妹尾

あまあゝあゝあゝあゝ

墨野崎氏

正幸

あまあゝあゝあゝあゝ

墨山酒肆氏

不知

あまあゝあゝあゝあゝ

某師

云斗

あまあゝあゝあゝあゝ

流及

あまあゝあゝあゝあゝ

野崎氏

正供

あまあゝあゝあゝあゝ

松住上原

秀信

あまあゝあゝあゝあゝ

遠山氏

重房

あまあゝあゝあゝあゝ

意尾氏

直文

廻文

あまあゝあゝあゝあゝ

實門

あまあゝあゝあゝあゝ

流及子太郎

永及



春月

久遠の昔よりとて 春月  
立圃  
 後の世にても 春月  
森集村氏  
 思ふまじき 春月  
朝定  
 まさしく 春月  
斤上住  
 とし月より 春月  
榎井  
流序

郷端

春のよき 春月  
重頼  
 蝶のよき 春月  
廣城氏  
 花のよき 春月  
竹屋氏  
 お花とこれと 春月  
讚列  
 花のよき 春月  
周節  
 花のよき 春月  
芝栗住  
 花のよき 春月  
志賀氏  
 花のよき 春月  
素甫  
 花のよき 春月  
俊直  
 花のよき 春月  
郷友

藤



年月と松よひの道とわのり教 石原氏  
 松よひの道とわのり教 竹屋氏  
 松よひの道とわのり教 梅野氏  
 松よひの道とわのり教 遠山氏  
 松よひの道とわのり教 安井氏  
 松よひの道とわのり教 幸隆  
 松よひの道とわのり教 重房  
 松よひの道とわのり教 誠成  
 松よひの道とわのり教 重幸

松の道とわのり教

松の道とわのり教 見新氏  
 松の道とわのり教 利寅  
 松の道とわのり教 天城氏  
 松の道とわのり教 叔松  
 松の道とわのり教 前田氏  
 松の道とわのり教 正親  
 松の道とわのり教 芝栗氏  
 松の道とわのり教 正信  
 松の道とわのり教 備中中嶋氏  
 松の道とわのり教 家辰

松の道

松の道とわのり教 是討  
 松の道とわのり教 依教氏  
 松の道とわのり教 祐沢







花の心もやあきらましく  
佩指の世もあきらましく  
秋もくもはげしき蘇枳丸  
山はくもるや蘇枳丸  
嘉風  
讀列高松  
斤上佳中村氏  
重春  
小春  
常成

木蓮丸

許りて風もくせよ木蓮丸  
桃の物もくせよ木蓮丸  
白の茶もくせよ木蓮丸  
白の心もくせよ木蓮丸  
榊片  
流序  
大榊  
次良  
流及  
同

小朱丸 付あむ丸

咲くも木蓮丸  
振ふも木蓮丸  
白の茶も木蓮丸  
白の心も木蓮丸  
ちりちりも木蓮丸  
中世地も木蓮丸  
又字も木蓮丸  
とらとらも木蓮丸  
赤穂集水溪谷氏  
土歳 尚昌  
安井氏  
誠成  
九龍住  
周節  
竹屋氏  
英時  
高松大西氏  
正次  
花房氏  
信定  
沼住  
是討  
流及



去部云

細毛わいし目しよる去れ多

織井氏

栄武

去す六不討り需よりく中る河

流及

若部

さうまろ河流とらんる水部也

翠柳子

俊直

雜春

見流けらる者戸のり作らま

内海氏

風意

海くらぬとふ流らんは流れ

實門

名流のりおのりなりと

米とらふ文字とをゆるが流

空存

いりし心とれらわらりり

芝栗明源寺

正林

者戸ありく

浪の流や今此例乃思流し

本庄氏

如蝨

天つ下に流流そそそく

高野山

類巖

去部に次のりるを清子紙

芝栗明源寺

正林

実と推てうらふ道にありあり

安井氏

誠成

流とゆら去るをさるるあり

備前邑又郡山縣氏

忠次



山あふく傘川く孔玄日くれ

妙等大河和尚

水晶やいしきまを白乃嵐知

内漢

豊継

厚まひ悔日り

書は馬のりまひ時わけの書

李吟

ゆらまわらしくおるじりる川

胤及

築とくまやせ卯あさくじは丸鳥

同

はなま

聖尼氏書



